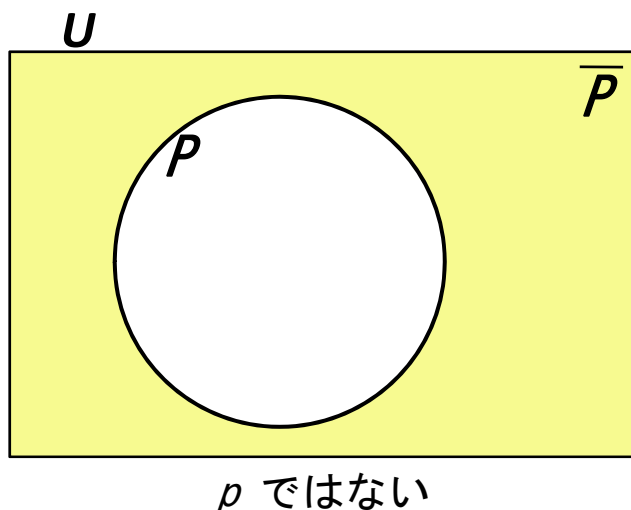


条件の否定とド・モルガンの法則

条件 p に対し「 p でない」という条件を p の否定といい、 \bar{p} という記号で表す。 \bar{p} を満たすものの集合は、 p を満たすものの集合 P の補集合 \bar{P} となる。



例
7

- (1) 条件「 x は1より大きい」の否定は「 x は1より大きくない」である。すなわち、「 x は1以下である」と述べてもよい。
- (2) 「自然数 n は3で割り切れる」の否定は「自然数 n は3で割り切れない」である。すなわち、「自然数 n は3で割ると1または2余る」と述べてもよい。